

20時間で習得する
超サバイバル中国語
(中国赴任者向け)

- 現地の中国人が聞いてわかる発音
- 赴任直後に間違いなく役に立つ200の単語
- 話を通じさせるのに最低限必要な7つの構文
 - ➡ これだけ知っていれば、身振り手振りも交えて
なんとか当面の急場はしのげる

『新編』『新編』
『新編』『新編』
『新編』『新編』

(『新編』『新編』)

『新編』『新編』『新編』
『新編』『新編』『新編』
『新編』『新編』『新編』
『新編』『新編』『新編』

(『新編』『新編』)

目 次

- I 中国語とは
 - II 中国語の発音
 - III 是非（である・でない）の表現
 - IV 動作・行為の表現（1）
 - V 動作・行為の表現（2）
 - VI 性質・状態の表現
 - VII 所有・存在の表現
 - VIII 願望・必要・許可の表現
 - IX 数字・金銭・時間（1）
 - X 数字・金銭・時間の表現（2）
- 覚えておきたい語彙200
- 逆引き単語帳
- 中国語音節表

I 中国語とは

1. 中国の共通語“普通话”[pǔ tōng huà プー*トゥン*ホア]

私たち日本人が普段「中国語」と言っている言葉は、実は中国人の中の漢民族が使っている言葉で、中国では「漢語」と言われています。中国には多くの少数民族がいますので、中国人必ずしも漢民族とは限りませんが、数からいって漢民族が圧倒的に多いので、中国では「漢語」を中国の共通語としています。

ところが中国は大きな国で、ヨーロッパと同じくらいの広さがありますから、同じ「漢語」と言っても地方によって発音や言い回しが随分違います。特に発音は同じ言葉とは思えないほどにかけ離れていて、例えば上海人や広東人がそれぞれのお国の言葉で話していたら、北京の人には分かりません。従って、単に「漢語」を共通語にすると決めただけでは、実際の共通語にはならないのです。

そこで「漢語」の中でも、これが中国の共通語だという言葉の一つ決めておく必要があります。それが「普通话（プートゥンホア）」と言われるもので、北京語をベースにしたきれいな言葉です。そして今中国では、大体どこへ行ってもこの「普通话」が通じるようになっていました。特に外国人ビジネスマンと接触する立場にあるような中国人は、ほとんどがそれなりの教養を備えた人たちですから、「普通话」が通じないということはまずあり得ません。従って私たちがこれから勉強する中国語も、当然ながらこの「普通话」ということになります。

2. 中国の漢字“簡体字”[jiǎn tǐ zì チェン ティー* ツー]

漢字には私たち日本人は子供のときから慣れ親しんでおり、何をいまさらと言われるかも知れませんが、中国語を勉強するに当っては、現在中国で使われている漢字について若干の予備知識が必要です。というのは、中国では下記に見られるように、本来の漢字をかなり思い切って簡略化した「簡体字」という文字が正式の文字として使われているからです。

これでは伝統文化のぶち壊しじゃないかという見方もありますが、13億の人々が均しく読み書きできるようにし、現代社会のスピードに対応できるようにするためには、漢字以外に標記方法のない中国語にとって、文字の負担をできるだけ軽減することは不可欠の条件と言えます。その意味で、この思